

Contents

Point of View _____ 1

Business Angle _____ 2

Activities _____ 3~4

【事務局】 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-37-4 友田三和ビル3F
 TEL 03-3296-0769 FAX 03-3296-0779 URL http://www.ajec.com/

Point of View

◆「新会社法」5月施行
編集制作会社への影響は軽微

「資本金1円」「取締役1人」でも会社が設立できるという新しい会社法が、5月に施行されます。今回はこの「新会社法」への対応や、編集制作会社の経営に及ぼす影響などについて、日本編集制作会社協会の顧問弁護士である桑野雄一郎氏に解説してもらいました。



桑野雄一郎弁護士

会社法の改正はこれまでも何度か行われてきましたが、今回の改正は抜本的なもので、明治以来の大改正といっても過言ではありません。ただし、会員の皆さんにとってはただちに何らかの変更を迫られるという差し迫ったものではありませんので、あまり神経質になる必要はないでしょう。以下に、新会社法の主な改正点をご説明します。

◆有限会社制度の廃止

まず今回の改正に伴い、有限会社制度が廃止されることになりました。現在の有限会社については、改正後もそのまま存続させて「有限会社」という商号を使用することができ、とくに定款変更や登記などの手続を行う必要はありません。これを「特例有限会社」と言います。もちろん、商号を「株式会社」に変更する定款変更手続きを行い、改正法の下で株式会社になることもできますので、新しい法律の運用状況を見てじっくりと検討すればよいと思います。

◆会社組織の簡略化

株式会社では1,000万円以上必要だった最低資本金制度が廃止され、法律上は資本金1円の会社も作れるようになりました。また、現行では取

締役が3人以上、監査役が1人以上必要でしたが、この制限がなくなり、取締役が1人の株式会社も認められるようになります。この結果、今までは会社法の規程をクリアするために、実際には経営に関与していない親族を取締役や監査役に就けていた会社がありました。これから設立する株式会社はその必要がなくなります。また皆さんの会社は、株式を譲渡するのに取締役会の承認を要するなどの制限がついていると思いますが、改正後はこのような会社では取締役会も監査役も不要となり、会社に関する一切の事項は株主総会で決議することになります。さらに、これまでは取締役の任期が2年、監査役の任期が4年でしたが、改正後は取締役も監査役も最長10年まで任期を延ばすことが可能です。

◆今後の対応について

現在の株式会社については組織変更などの必要はありませんが、改正法に基づいて新たに認められた組織に変更することができます。ですから今回の改正に伴い、組織を簡略な形に切り替える

か、現状のままでいくかを選択すればいいわけです。

今回の法改正は多岐にわたり、またとても重要ですが、会員の皆さんとしては「会社の組織について選択の余地が広がった」という点だけを理解していただければ十分だと思います。どのような組織にしていこうかは、会社の規模や業務によって異なりますので、弁護士や司法書士などに相談されると良いでしょう。

◆税制についての重要な改正

今回の最低資本金制度の廃止により、個人事業者も簡単に法人となることが可能となります。このため節税目的で会社を設立するケースが増えることが予想され、政府は節税を目的にした会社設立に一定の歯止めをかけようと、昨年暮れに「平成18年度税制改正大綱」を発表しました。同族関係者が株式の90%以上を保有し、なおかつ常務に従事する役員の過半数を占めている会社では、原則としてオーナー社長の役員報酬の全額を損金とすることができなくなりました。商法改正もさることながら、このような税制改正の動きにも注意する必要があります。(談)

新会社法の要点

- 1) 有限会社をつくることができなくなる
(現行の有限会社は、そのまま有限会社を継続するか、株式会社に更改するかを選択できる)
- 2) 株式会社は資本金1円でも設立できる
(節税目的の会社設立には税制改正で規制)
- 3) 株式会社の取締役は1人でもよい
(取締役会を置くか置かないかを選択し、置かない場合は監査役も不要)

◆「編集プロダクションの営業活動強化」 春の例会で大日本印刷の池田氏が講演

3月16日(木)午後6時30分から、東京・神楽坂の日本出版クラブ会館で春の例会が開催され、当協会の賛助会員でもある大日本印刷(株)の池田敬二氏が「編集プロダクションの営業活動強化に向けて」と題して講演しました。以下はその概要です。

◆IT化がもたらすビジネスチャンス

池田氏はまず昨今の出版不況の現状に触れ、2005年の出版物販売額が対前年比2.1%減の約2兆2,000億円となった理由として、①少子高齢化による読者減少、②インターネット・携帯電話などの通信費の増大による図書購入費の減少、③新古書店・漫画喫茶などの二次流通市場の隆盛、④図書館の貸し出しの増加などを挙げました。これらの諸要因に加え、DTPの普及によって製版会社の廃業が相次ぎ、印刷業全体ではここ10年で5,500社以上が減少したと説明。

その一方で、携帯電話が持つメールやサイト閲覧機能の普及により、若い人の文字に接する量・機会が増え、普段本を読まない女子高校生などが人気テレビドラマの原作を携帯電話にダウンロードして楽しんでいくことは見逃せないと述べました。

このような時勢を捉えた分析が、

大日本印刷が2005年4月から運営している携帯電話向け電子書籍販売サイト「よみっち」の成功にも繋がっているようです。このことをふまえ、編集制作会社でも印刷部門のデジタル化やインターネット分野にどのように切り込むかが、腕の見せどころではないかと問題提起されました。

◆出版物の総合プロデューサー

次に印刷会社の営業体制について触れ、従来のクライアント依存型の受注から、昨今は本業である印刷・造本以外で営業を模索するなど、生き残りのため変貌していると説明。具体的には、“川上(出版企画提案)”から“川下(顧客対応のデリバリー、販売の提案)”まで、出版物に関わるすべての過程でクライアントである版元に関わることを目指していると話しました。その成功例として雑誌「食楽」(徳間書店刊)を挙げ、創刊に向けて編集企画から編集プロデューサーの紹介に至るまで、一貫して大日本印刷が関わり、成功を取めたことを紹介。そのほかにもビール会社の宣伝に有名なマンガの復刻フィギュアを付ける提案や、世間が毎年注目する国民的な行事の運営にも関わっているといます。これらの取り組みは、“印刷”という枠を超えた



池田敬二氏
(大日本印刷株式会社 市谷事業部
メディア・ソリューション本部 企画部
デジタルメディア企画販売グループリーダー)

営業活動の成果が表れた結果と言えるでしょう。

◆きめ細かい営業を活かし企画提案

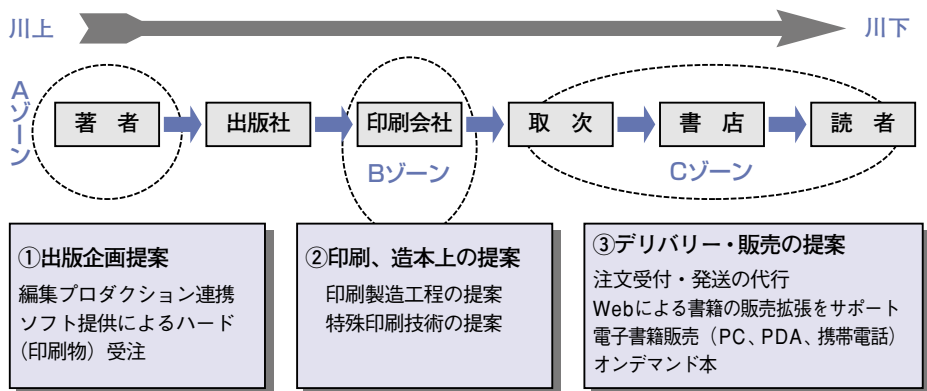
このように印刷会社は従来型の営業活動に加え、版元に対する編集制作会社の紹介とコラボレーションした企画提案・仕組み提案などを積極的に行い、受注の拡大を目指しています。またデジタル化やインターネットといった時代の趨勢を見据えた企画提案活動も活発化しています。

池田氏は最後に、得意先の出版社を回って感じている要望を次のように挙げました。①出版企画を提案してほしい、②広告収入を確保したい、③販売部数を増やしたい、④コンテンツの有効活用がしたい、⑤制作コストを抑えたい、⑥新たな売り上げの柱となる雑誌を立ち上げたい。

これらの事柄は我われ編集制作会社側でも意識してきたことですが、きめ細やかな営業活動を行う大手印刷会社と、コンテンツ制作を担う編集制作会社が手を組み、より一層充実したコンテンツ制作を行うことで、お互いにメリットのあるビジネスモデルを構築していくことが可能になるのではないのでしょうか。

(経営委員長・坂井一之)

印刷会社の出版業界における新たな取り組み



2005年度の行事は「春の例会」をもってすべて終了しました。この1年間に実施した行事は17件を数え、参加者は会員社を中心に延べ500名近くに達しました。2006年度は編集技術講座を開講し、日本編集制作大賞を設置するなど、さらに協会事業の拡充を図っていく予定です。(事務局)

2005年度行事報告 (2005年4月～2006年3月)

◆4月8日 春の新人・若手社員研修セミナー (写真①)

ビジネスマナーや編集者としての心構えなどについて講義。会員社の新人・若手社員41名が参加(東京・神楽坂『日本出版クラブ会館』)

◆4月21日 春の親睦ゴルフコンペ

5組19名が参加(埼玉『越生ゴルフクラブ』)

◆5月12日 第23期通常総会・懇親会

準会員や賛助会員を含め約40名が参加(日本出版クラブ会館)

◆6月10日 拡大協議会

各委員会の副委員長、各部会の副部長、ならびに監事が集い、協会運営全般について意見交換を実施(東京・神田小川町『神田 いるさ』)

◆6月16日 一般書部会

プロダクション経営の展望をテーマに事例報告などを情報交換を実施(東京・神楽坂『京都ぎおん 久露葉亭』)

◆6月23日 教材部会

10名参加(東京・神田『ふくるる』)

◆7月1日～2日 経営研修セミナー

経営白書の発表、労務管理についての講義、会員社の事例研究など(神奈川県箱根町『ホテルおくゆもと』)(写真②)

◆7月7日～10日 編集プロダクションフェア (写真③)

第12回東京国際ブックフェア2005と同じ日程・会場で開催。会員社10社が個別出展したほか、協会特設ブースを設置し、会員社の「我が社の一冊」を展示(東京ビッグサイト)

◆7月21日 企業出版デジタル合同部会

両部会間でのコラボレーションを目指し、22名で実施(東京・神田司町『むすびや 海苔米茶屋』)

◆7月22日 編集セミナー (写真④)

「印刷の基本知識と今後の動向」をテーマとした講義の後、正会員の三松堂印刷の協力を得て印刷工程などを見学(東京・板橋『三松堂印刷』)

◆10月6日 秋期ゴルフコンペ

4組15名が参加(茨城『取手国際ゴルフ倶楽部』)

◆10月28日 秋の全国拡大編集セミナー (写真⑤)

非会員社を含めて約90名が参加。講師に松田哲夫氏(筑摩書房専務)、清田義昭氏(出版ニュース社長)、東直子氏(小学館「サライ」編集長兼発行人)、安藤卓氏(PHP研究所第一出版局長)を迎えた(東京・一ツ橋『日本教育会館』)

◆11月18日 秋の例会 (写真⑥)

講師に中村俊之氏(社会保険労務士兼日本マンパワー社員教育専任講師)を招き、「就業規則」についてのセミナーを実施(東京・一ツ橋『日本教育会館』)

◆12月15日 忘年会 (写真⑦)

賛助会員や顧問弁護士である桑野雄一郎氏、協会行事で講師を務めていただいた中村俊之氏など約40名が参加(東京・飯田橋『北海道』)

◆1月13日 一般書・企業出版合同部会 (写真⑧)

約20名が集い、新年会を兼ねた懇親会が行われた(東京・神保町『LIBERTE』)

◆2月16日 教材部会・デジタル部会

17名が参加して情報交換を行う(東京・神田『ふくるる』)

◆3月16日 春の例会

編集プロダクションの営業活動強化をテーマに賛助会員である大日本印刷の池田敬二氏を講師に迎えてセミナーを実施(東京・一ツ橋『日本教育会館』)



新人・若手社員研修セミナー (05年4月8日)



経営研修セミナー (05年7月1日～2日)



編集プロダクションフェア (05年7月7日～10日)



編集セミナー (05年7月22日)



秋の全国拡大編集セミナー (05年10月28日)



秋の例会 (05年11月18日)



忘年会 (05年12月15日)



一般書&企業出版合同部会 (06年1月13日)

教材&デジタル合同部会 2/16

教材部会とデジタル部会の合同部会が2月16日(木)午後6時30分から東京・神田錦町の「ふくるる」で開催されました。当日は賛助会員の関西編集制作会社協会から3名が出席するなど17名が参加し、賑やかな会となりました。



教材&デジタル合同部会の模様

春の例会 3/16

経営委員会が担当する「春の例会」が、3月16日(木)午後6時30分から東京・神楽坂の日本出版クラブ会館で開かれました。当日は賛助会員でもある大日本印刷(株)の池田敬二氏が講師を務め、「編集プロダクションの営業活動強化」について講演しました。なお、講義の内容については2ページをご覧ください。



「春の例会」で講演する大日本印刷の池田敬二氏

選挙結果

現理事・監事の任期満了にともない次期役員を選出を行ったところ、右の通り新任役員が内定しました。役員は5月18日(木)に開催する通常総会において承認を受け、正式に就任となります。

なお、選挙は2月6日に立候補の受付を開始し、2月末で締め切りました。その結果、立候補者が定員と同数であったため信任投票を実施し、3月10日までに回収した投票(投票率72.1%)を監事立ち会いのもとで集計。全員が信任されました。

2006年度上期の主な行事予定

教育 編集技術講座

編集制作の知識や技術の習得を目的とした「編集技術講座」(年10回)を、4月21日(金)より開催します。全カリキュラムを受講した方には協会より修了証を交付し、編集制作に関する一定の基礎知識を身につけたことを認定いたします。

◆第1回概要

- 日時: 4月21日(金) 18時30分~20時30分
- テーマ: 今日の出版界と編集者の役割
- 講師: 鷲尾賢也氏(講談社顧問)
- 場所: 日本教育会館 703会議室
- 受講料: 年間1人2万円(非会員: 3万円)
スポット受講: 1回3,000円(非会員同)

◆今後の開催予定

- 第2回: 5月19日(金) 午後6時30分~
「売れる書籍の企画作り」
講師: 大石陽次氏(NHK出版図書出版部)
- 第3回: 6月16日(金) 午後6時30分~
「読者を引きつける雑誌の企画作り」
講師: 黒坂 潔氏(主婦と生活社)
- 第4回: 7月21日(金) 午後6時30分~
「取材のコツと執筆のポイント」
- 第5回: 9月15日(金) 午後6時30分~
「原稿整理・校正のテクニック」
- 第6回: 10月20日(金) 午後6時30分~
「デザイン・レイアウトのコツ」
- 第7回: 11月17日(金) 午後6時30分~
「カメラワークとディレクション」
- 第8回: 1月19日(金) 午後6時30分~
「DTPとデジタル編集」
- 第9回: 2月16日(金) 午後6時30分~
「最新の印刷技術と紙・製本の知識」
- 第10回: 3月16日(金) 午後6時30分~
「著作権・差別用語の知識」

懇親 春季ゴルフコンペ

第36回ゴルフコンペ(春季大会)を4月15日(土)に実施します。今回は千葉県市原市にある雄大なチャンピオンコースのロッテ皆吉台カントリー倶楽部。5組20名が日頃の練習の成果を披露します。

- 日時: 4月15日(土) 9時30分スタート
- 場所: ロッテ皆吉台カントリー倶楽部

総会 通常総会・懇親会

第24期通常総会を5月18日(木)午後5時から東京・神楽坂の日本出版クラブ会館で開催します。総会終了後には懇親会を予定していますので、準会員・賛助会員の皆様もぜひご出席ください。

- 日時: 5月18日(木) 17時00分~
- 場所: 日本出版クラブ会館

<懇親会>

- 時間: 総会終了後(18時00分予定)
- 場所: 日本出版クラブ会館

催事 編集プロダクションフェア

7月に実施される東京国際ブックフェアで、今年も「編集プロダクションフェア」を開催し、協会ブースを設営します。多くの皆様の出展、ご来場をお待ちしています。

- 日時: 7月6日(木)~9日(日)
- 場所: 東京ビッグサイト

顕彰 日本編集制作大賞

編集プロダクションフェアでは、毎年、協会ブースで会員社の自慢の一冊を展示していますが、今年はこの出展作品の中から来場者に優秀な作品を選んでもらう「日本編集制作大賞」を実施し、各部門の優秀作品に表彰楯・副賞を授与します。

- 審査日: 7月6日(木)~7日(金)
- 場所: 東京ビッグサイト/協会ブース

研修 経営研修セミナー

毎年恒例の経営研修セミナーを今年も開催します。場所は未定ですが、東京近辺の手頃な温泉地で開催する予定です。

- 日時: 7月14日(金)~15日(土)
- 研修内容: 経営白書の報告&意見交換
セミナー、事例研究など
- 懇親: 宴会、ゴルフコンペ(翌日)を予定

	氏名(敬称略、音順)	会社名
理	小林 哲夫	(株)エディット
	小椋山範男	(株)ブレインプール
	坂井 一之	(株)風讀社
事	高雄 宏政	(株)タカオ・アソシエイツ
	檜森 雅美	(株)アーク・コミュニケーションズ
	細江 弘司	(株)オフィス201
	山本 肇圀	(株)シナップス
監	田中 信幸	有木舎
	平田 嘉男	(株)キャデック